

町民のくらしに どう生かされたか

産業建設観光常任委員会

Q 交通量調査業務は、どのような対策に生かされるのか。

A 年4回、連休を中心に調査を実施している。友愛の森の前、西岩崎ポケットパーク等の交通量調査とナンバー調査、乗車人数のチェックを行っている。年度ごとに把握しプロモーション関係のデータに使用している。

観光事業特別会計

Q 町営スキー場リフトの整備費の償還期間が平成26年度で終わるが、今後、新しい施設整備はあるのか。

A リフトは、ペアリフトで待ち時間がなく乗れるので、当面施設整備は考えていない。センターハウス内のトイレ整備を検討する。



国民健康保険特別会計

Q 国保財政調整基金について、現在34万7000円だが、保険財政は、健全なのか。

A 現在の繰越金は、1億4891万円であるが、当分の間は運営していけると考える。

民生文教常任委員会所管

Q 住基カードとコンビニ交付サービス利用件数は。

A 住基カードの発行件数は、コンビニ交付サービスが始まったことにより約32倍の1017枚と着実に伸びており、住民の利便性向上が図られている。交付件数は、住民票470枚、印鑑証明432枚、所得証明26枚である。



Q バイオディーゼル燃料リサイクルの現状と今後増設する考えはあるか。

A 回収した廃油は6653kgで、精製したのは2793ℓ、それらの精製した燃料を使用した実績は2754ℓである。公用車3台に使用しているが、エンジンの状態によって燃料の質の問題があり、今後、検討する。